

〈報告〉 ②宮城より

「震災の体験と学んだことを伝えたい」
その願いをどう共有するか

大崎市立古川第四小学校

教員 佐々木 亮 さん

震災から14年， 今教壇に立って思うこと
～震災を風化させずにどう語り継いでいくのか～



プロフィール

PROFILE



佐々木 亮

- 生年月日：1993年6月5日
- 出身地：宮城県東松島市
- 震災当時：高校2年生
- 現在：大崎市立古川第四小学校勤務

エピソード

EPISODE

1

震災時の様子

2

現在，教師という立場になって

3

風化させずに伝えていくということ

① 震災時の様子



①震災当時の様子

01

高校へ登校
震災発生・・・

02

避難してから過ぎて
いく時間。
夜を学校で明かす。
情報が無い！

03

翌日の学校にて、
「帰れる人は帰っ
てもいいよ」



①震災当時の様子

04

学校から自宅まで自転車を押して帰宅



①震災当時の様子

05

何とか歩いていく。
いつもと違う通学路
に絶句。



06

家は流されてはいま
せんでしたがめちゃ
くちゃでした。



07

その夜。
祖父と叔母が津波
に流されたことを
聞きました。

② 現在，教師という立場になって



②現在，教師という立場になって

01

現在，私は大崎市立古川第四小学校に勤務しています。

津波の被害はなかった地域

川沿いで地震の際には
氾濫の恐れがある



②現在教師という立場になっ

て

02

・被災地ではない区域の学校に勤務して...

~子どもたちに伝えていること~

- ①地震が起こったら高いところへ逃げる
- ②家庭での災害時行動の確認や学校での避難訓練の徹底
- ③災害時の情報を整理し、むやみに動かないこと

②現在，教師という立場になって

03

・被災地ではない区域の学校に勤務して...

~今の現状，感じていること~

- ①自分の経験を伝えていく
- ②学校の避難訓練，引き渡し訓練の徹底
- ③目まぐるしく変わる情報化社会 何が本当か，何がうそか

③ 風化させずに伝えていくということ



③風化させずに伝えていくということ

・ 災害は人生の中でいつでも起きるということ

・ 自分の経験を伝えていく

・ 情報を整理して自分の安全を確保すること

ありがとうございました！

